

工事設計書

令和3年度	工事名	市道榎原兼久線防護柵設置工事											
		部長	課長	担当課長補佐	審査	設計							
設計金額	円												
工期	契約日から令和4年11月30日まで												
工事場所	米子市兼久地内												
工事概要	<p>施工延長 L=623.0m</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>道路土工</td><td>一式</td></tr> <tr><td>防護柵工</td><td>一式</td></tr> <tr><td>構造物撤去工</td><td>一式</td></tr> <tr><td>舗装工</td><td>一式</td></tr> <tr><td>区画線工</td><td>一式</td></tr> <tr><td>仮設工</td><td>一式</td></tr> </table>	道路土工	一式	防護柵工	一式	構造物撤去工	一式	舗装工	一式	区画線工	一式	仮設工	一式
道路土工	一式												
防護柵工	一式												
構造物撤去工	一式												
舗装工	一式												
区画線工	一式												
仮設工	一式												

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る特記仕様書

1 目的・主旨

本特記仕様書は、工事及び業務（以下「工事等」という。）における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に必要な事項を定めたものである。受注者は本特記仕様書に従って感染拡大防止に取り組むとともに、感染者等が確認された場合には発注者に速やかに報告するなど、感染拡大防止に向けて適切に対応すること。なお、感染状況の変化等により感染拡大防止対策の変更を指示する場合がある。

2 感染拡大防止に向けた取組

(1) 現場等における感染拡大防止対策

次の感染拡大防止対策を徹底すること。

- ① 工事の現場等においては、現場状況などを勘案しつつ、アルコール消毒液の設置や不特定の者が触れる箇所の定期的な消毒、手洗い、うがいなど、感染予防の対応を徹底するとともに、発熱症状がみられる者の休暇の取得など、すべての作業従事者等の健康管理に留意すること。
- ② 元請事業者をはじめ、下請事業者や技能者など、施工に携わるそれぞれの立場において、極力、三つの密を回避する対策やその影響を最大限軽減するための行動をとること。特に、建設現場における朝礼・点呼や現場事務所などにおける各種の打合せ、更衣室等における着替えや詰め所などの食事・休憩等、現場で多人数が集まる場面や密室・密閉空間における作業などにおいては、他の作業員と一定の距離を保つことや作業場所の換気の励行など、感染防止対策に取り組むこと。また、別紙の「3つの密を避けるための手引き」を全ての作業従事者に周知するとともに、現場事務所等で掲示（掲示は工事のみ）を行い、三つの密の回避や影響を緩和するための対策に万全を期すこと。
- ③ 作業従事者（下請事業者含む）が、鳥取県の指定する感染流行厳重警戒地域（IV）、感染流行警戒地域（III）、緊急事態措置区域及び、まん延防止等重点措置区域から新たに転入（通勤者を除く）する場合は、転入する前の7日間はやむを得ない場合を除き外出を自粛し、その後にPCR検査を実施し陰性であることを確認した上で、その結果を事前に監督員等に報告し転入すること。また、感染注意地域（II）から新たに転入（通勤者を除く）する場合は、転入する直前にPCR検査を実施し陰性であることを確認した上で、その結果を事前に監督員等に報告し転入すること。外出自粛中の行動履歴及びPCR検査の結果については、確認することのできる書類を転入前に監督員等に提出すること。この対策に要する費用については、感染防止対策に係る経費として設計変更の対象とするため、事前に監督員等に協議すること。

(2) 県外製作工場での監督員等の立会に検査（出来形・品質）

県外の製作工場における監督員等の立会による検査は行わないこととする。なお、受注者は自主検査を行い、検査結果を監督員に提出し、監督員は書面で検査結果の確認を行うこととする。

(3) 工事等の書類の提出及び受発注者間の打合せ

書類の提出及び受発注者間の打合せは次のとおりとする。

① 書類の提出について

ア　書面による指示、承諾、協議、提出、提示、報告及び通知は、やむを得ない場合及び契約関係書類を除き電子メールにより提出することとする。

※契約関係書類：契約書、現場代理人選任（変更）通知書、主任技術者等（変更）選任通知書、工程表、完成通知書、請求書、工事出来形部分等確認願

イ　押印書類は押印後にスキャンし、PDFに電子化したうえで電子メールにより送付する。受理、承諾等の押印後は、押印後の書類を電子化し相手方に電子メールにより送付する。

ウ 発注者又は受注者の環境、添付書類が多く電子化することが困難な書類など、電子メールによる送付が困難な場合は、事前に監督員等と協議を行うこと。

② 受発注者間の打合せ

- ア 打合せは、事前に電子メールなどにより打合せに必要な書類を提出したうえで、WEB会議システム、電話、情報共有システム等を活用し、やむを得ない場合、現場立会を除き、対面による打合せは行わないこととする。
- イ やむを得ず対面による打合せを行う場合、現場立会を行う場合は、以下の点に留意すること。
- ・①密閉空間、②密集場所、③密接場面の3つの条件を避けること。
 - ・最小限の人数で実施するよう双方で働きかけを行う。
 - ・マスク着用を推奨する等、感染予防を徹底する。
 - ・打合せ等に出席した全員の氏名を受発注者双方で記録すること。

3 感染拡大防止対策に係る経費の設計変更

追加で費用を要する新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を実施する場合には、実施内容について発注者と協議を行い、必要と認められる対策については、変更施工計画書（又は変更業務計画書）を提出すること。なお必要と認められる対策については、設計変更の対象とする。

4 感染等が確認された場合の対応

新型コロナウイルス感染症の感染等が確認された場合には、別紙1及び別紙2により対応すること。

5 新型コロナウイルス感染症に係る工事等の一時中止措置等について

新型コロナウイルス感染症の罹患や学校の臨時休業等の感染拡大防止措置に伴い技術者等が確保できない場合、また、これらにより資機材等が調達できないなどの事情で現場の施工を継続することが困難となった場合のほか、受注者から一時中止や工期又は履行期間の延長（以下「一時中止等」という。）の申出があった場合においては、一時中止等を希望する期間のほか、受注者の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた取組状況、地方公共団体からの活動自粛要請等の事情を個別に確認した上で、必要があると認められるときは、工期の見直し及びこれに伴い必要となる請負代金額の変更、一時中止の対応等、適切な措置を行う。

6 下請負人への配慮及び元請負人と下請負人との間の取引の適正化

下請契約においても、工期の見直しや一時中止の措置等を適切に講じるとともに、請負代金の設定及び適切な代金の支払など、元請負人と下請負人との間の取引の適正化のより一層の徹底に努めること。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた
工事及び業務の対応について

1 工事及び業務（以下「工事等」という。）で新型コロナウイルス感染症の感染等が確認された場合の対応（以下「当対応」という。）（別紙2参照）

(1) 対象者

発注者：監督員、調査職員（以下「監督員等」という。）を対象とする。

受注者：現場で直接作業する作業従事者（現場代理人、主任技術者、監理技術者、担当技術者、

作業員（下請含む）及び業務で配置される全ての配置技術者）（以下「作業従事者」という。）を対象とする。（社内の事務員、他現場の作業従事者は、接触者、濃厚接触者に該当する場合であっても当対応の対象外）

(2) 用語の定義

現場等：作業場、事業所等をいう。工事においては工事現場、現場事務所及び休憩所、業務については執務を行っている事務所をいう。

陽性者：PCR検査により、新型コロナウイルス感染症の感染が確認された者

濃厚接触者：保健所が濃厚接触者に該当すると判断した者

接触者：PCR検査で陽性が判明した当該現場等作業従事者と、陽性が判明した日から遡って一週間以内に会話をした者

感染の疑いがある者：濃厚接触者、接触者及び咳や発熱等、新型コロナウイルス感染症が疑われる症状を呈している者

(3) 感染の疑いがある者が確認された場合の対応

ア 感染の疑いがある者が受注者側の作業従事者に確認された場合

別紙2 「[1] 該当者が受注者側の作業従事者の場合」により対応。

イ 感染の疑いがある者が発注者側の監督員等に確認された場合

別紙2 「[2] 該当者が発注者側の監督員等の場合」により対応。

(4) 注意事項

ア 陽性者について

陽性者は、保健所、医療機関等の指導に従う。

陽性者の現場作業への復帰時期についても医療機関等の判断に従う。

イ 濃厚接触者について

濃厚接触者は、保健所の指導に従う。

濃厚接触者の健康観察期間（待機期間）は最終曝露日（陽性者との接触等）から7日間とする。

ただし、道路の除雪業務に従事する者は社会機能維持者として、下記をすべて満たす場合に限り、受注者判断により濃厚接触者の健康観察期間（待機期間）の短縮を行うことができる。

①当該濃厚接触者が無症状であること

②最終曝露日から5日目にPCR検査若しくは抗原定量検査、又は4日目と5日目に抗原定性検査を行い、陰性を確認

③待機解除後に業務従事する際は、感染対策を徹底し、10日目までは当該業務以外の不要不急の外出は極力控え、公共交通機関の利用を避けすること。

※待機期間短縮に係る詳細については、「新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者の待機期間等について」(<https://www.pref.tottori.lg.jp/302385.htm>)を参照すること。

ウ 接触者について

接触者に該当するか否かは受発注者がそれぞれ判断する。

パーテーションの使用、マスク着用の有無を問わず、現場等において、陽性が判明した日から遡って一週間以内に陽性者と会話した者は接触者となる。

接触者はPCR検査で陰性が確認されるまで自宅待機(在宅勤務)とする。

エ (3)アにおける、「現場等の安全が確保されたか」について

工事等の一時中止を解除するにあたり、保健所の指導に従い、機械設備、現場等の消毒作業を実施する。特に保健所から指導が無い場合、消毒完了をもって安全が確保されたとみなす。

オ (3)イにおける、「工事等の一時中止の要否を検討」について

現場等の作業継続が可能な場合、監督員等の追加・変更(通知)や段階確認の臨場を机上とする(指示)等、現場等が継続できるよう監督員体制等の確保に努める。

2 工事等の書類の提出及び打合せについて

(1)工事等の書類の提出

ア 書面による指示、承諾、協議、提出、提示、報告及び通知は、やむを得ない場合及び契約関係書類を除き電子メールにより提出することとする。

※契約関係書類：契約書、現場代理人選任(変更)通知書、主任技術者等(変更)選任通知書、工程表、完成通知書、請求書、工事出来形部分等確認願

イ 押印書類は押印後にスキャンし、PDFに電子化したうえで電子メールにより送付する。

受理、承諾等の押印後は、押印後の書類を電子化し相手方に電子メールにより送付する。

ウ 受注者の環境、添付書類が多く電子化することが困難な書類など、電子メールによる送付が困難な場合は、事前に監督員等と協議を行うこと。

(2)受発注者間の打合せ

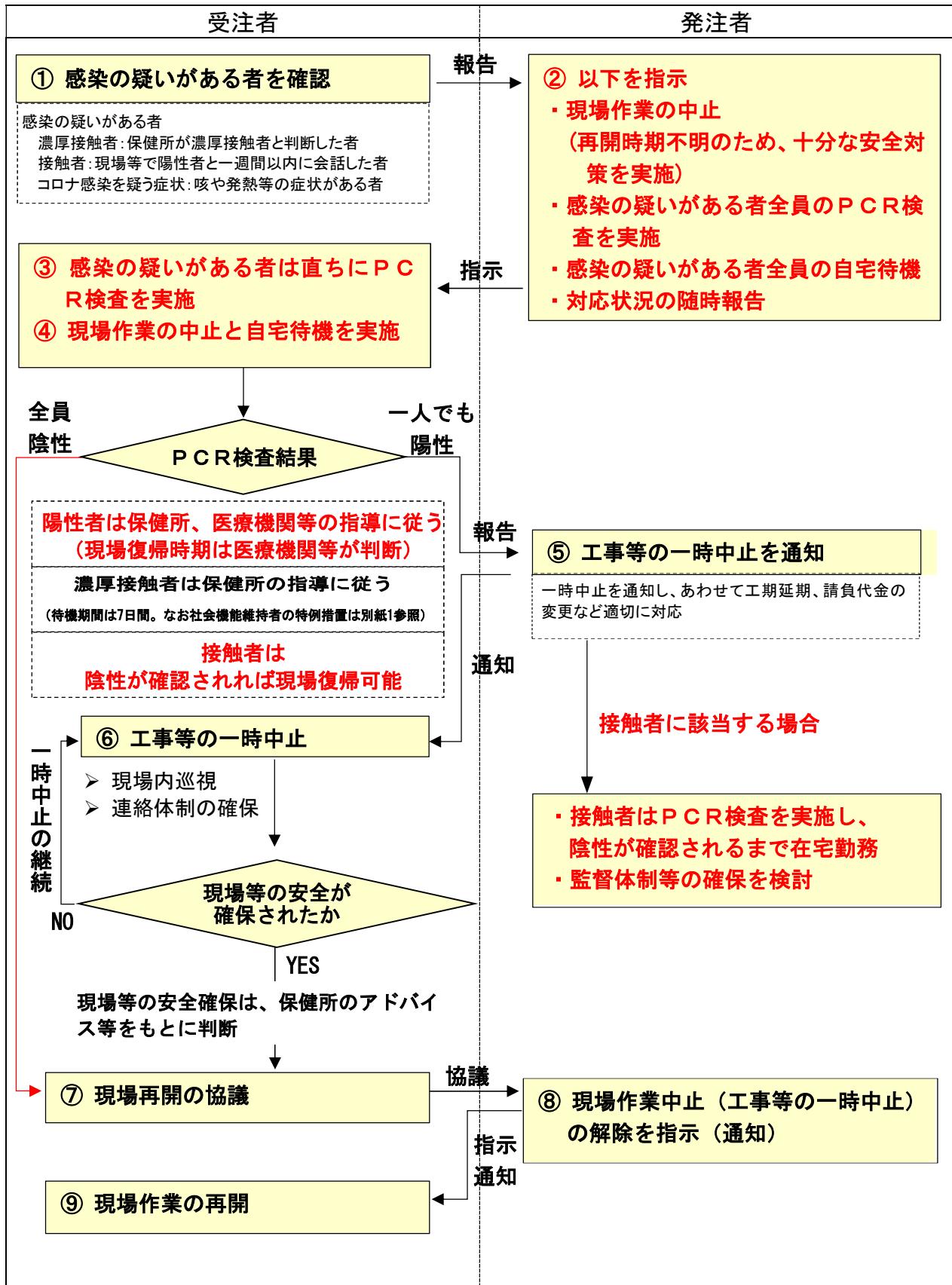
ア 打合せは、事前に電子メール等により打合せに必要な書類を提出したうえで、WEB会議システム、電話、情報共有システム等を活用し、やむを得ない場合、現場立会を除き、対面による打合せは行わないこととする。

イ やむを得ず対面による打合せを行う場合、現場立会を行う場合は、以下の点に留意すること。

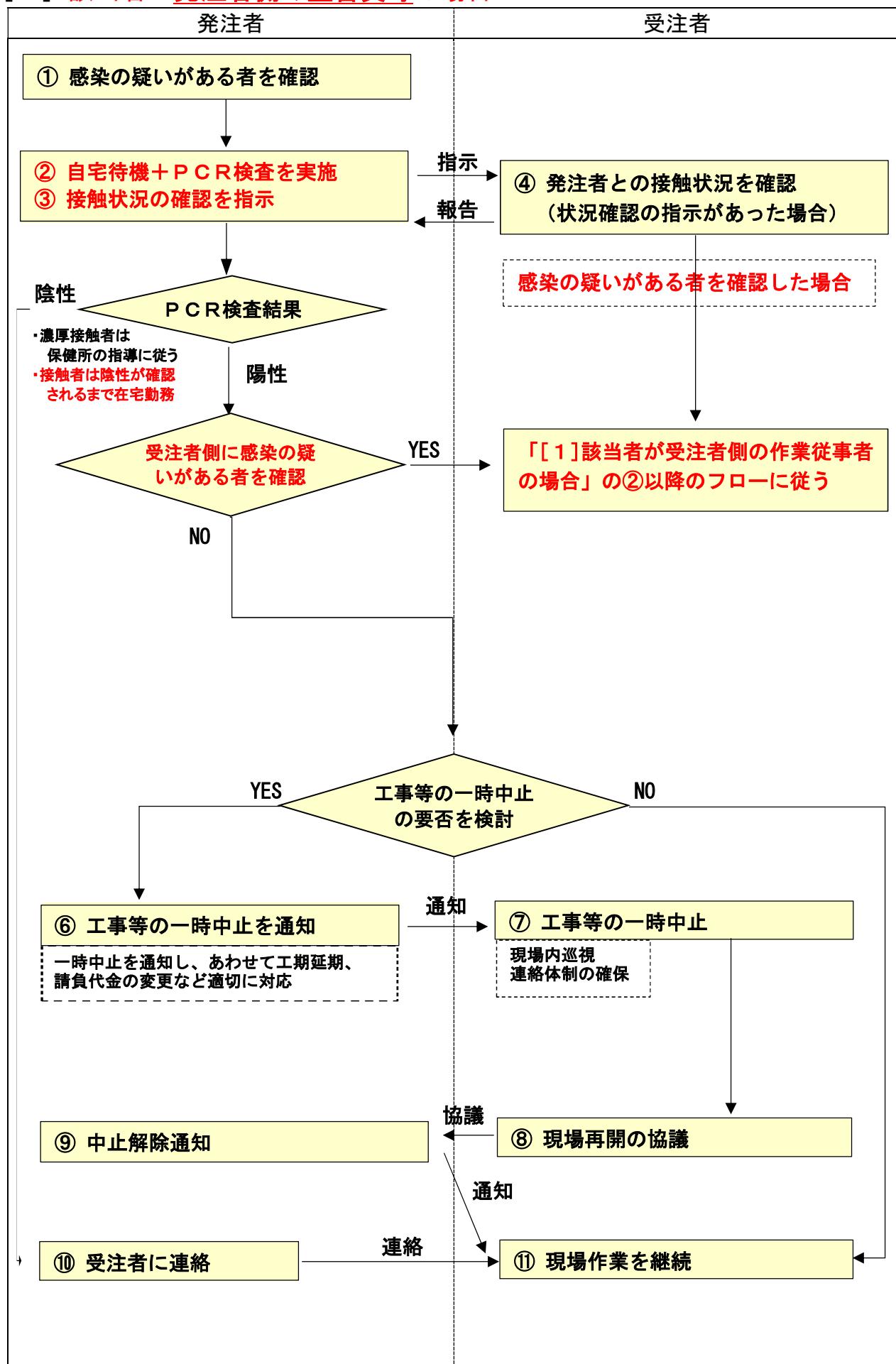
- ・①密閉空間、②密集場所、③密接場面の3つの条件を避けること。
- ・最小限の人数で実施するよう双方で働きかけを行う。
- ・マスク着用を推奨する等、感染予防を徹底する。
- ・打合せ等に出席した全員の氏名を受発注者双方で記録すること。

工事等で新型コロナウイルス感染症の感染等が確認された場合の対応

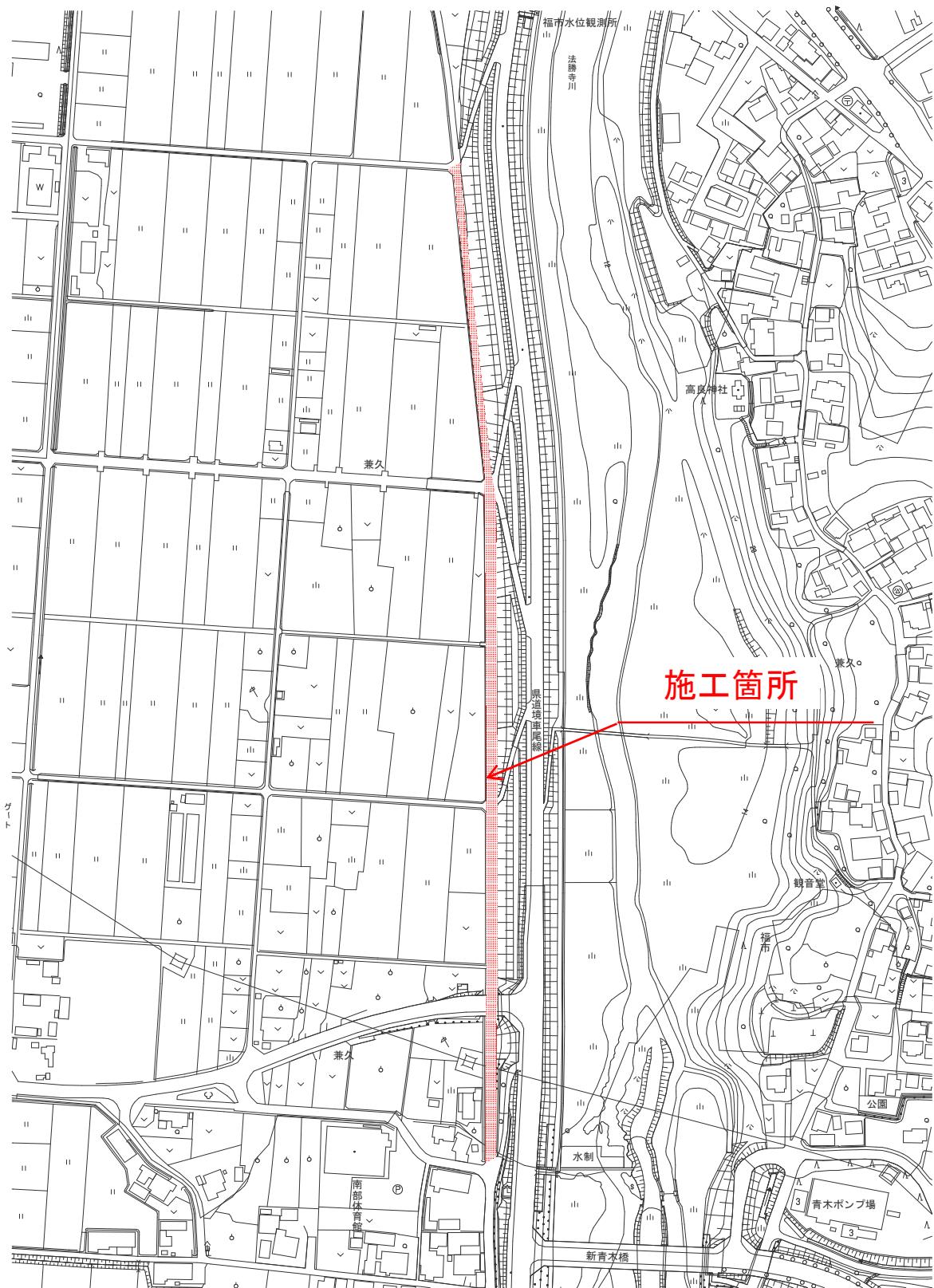
[1] 該当者が受注者側の作業従事者の場合



[2] 該当者が発注者側の監督員等の場合



位置図



設計数量総括表

工事区分	工種	種別	細別	規格	単位	数量	摘要
道路改良							
	道路土工	掘削工					
			掘削	土砂	m ³	50	
		残土処理工					
			残土処分	土砂	m ³	50	
	防護柵工						
		防止柵工					
			転落防止柵	土中建込	m	205	
			転落防止柵	コンクリート建込	m	418	
			削孔		式	1	
	構造物撤去工						
		道路付属物撤去工					
			視線誘導標撤去	コンクリート建込	本	6	
		構造物取壊し工					
			舗装版切断	t=15cm以下 As舗装	m	210	
			As取壊し	t=15cm以下	m ³	62	
		運搬処理工					
			殻運搬	As殻	m ³	3	
			殻運搬	Co殻	m ³	0.1	
			殻処分	As殻	t	6	
			殻処分	Co殻	t	0.2	
	舗装工						
		舗装準備工	不陸整正	補足材あり Rc-30	m ³	62	
		アスファルト舗装工	路盤	再生クラッシャーラン Rc-30, t=14cm	m ³	182	
			表層	再生密粒度アスコン t=4cm	m ³	244	
	区画線工						
		区画線工	ペイント式区画線	外側線 白・実線, W=15cm	m	210	
	仮設工						
		交通管理工	交通整理員	交通整理員B	式	1	

(6) ほ装単独工事（アスファルト）においては、表層工、基層工及び上層路盤工を自社施工しなければならない。ただし、表層工、基層工及び上層路盤工であっても特殊工法部分についてはこの限りでない。

(7) 契約書第25条第5項及び第6項の対応については、鳥取県県土整備部「建設工事請負契約書第25条第5項の運用」、「賃金等の変動に対する工事請負契約書第25条第6項（インフレスライド条項）運用マニュアル」に基づき請求を行うこと。

現場説明書

令和4年1月6日改正
特記事項1

仕様書	<p>本工事の施工に当たっては、契約日現在の次に掲げる仕様書等によること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>鳥取県土木工事共通仕様書</u> ・ <u>鳥取県土木工事施工管理基準</u> ・ _____ 	
工程	<p>① (他工事等との調整) ② (部分完成、着工保留) ③ (施工時間) ④ (余裕期間設定工事) ⑤ (鋼材の調達の遅れによる工期の延長) ⑥ (週休2日モデル工事)</p> <p>_____については、_____と関連するので相互の連絡を密にすること。 _____については、_____まで_____（すること・しないこと）。 本工事_____の施工時間は、<u>8:30～17:00</u>とする。 本工事は、米子市余裕期間設定工事に係る実施要領（令和3年4月1日施行）の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。 工期については、調達公告のとおりとする。 この工事の工期には、鋼材調達期間として、_____か月を見込んでいるが、請負者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。 本工事は、米子市「週休2日工事モデル工事」試行実施要領（土木工事）（令和3年4月1日施行）の対象工事である。モデル工事を選択する場合は、工事着手日までに発注者に協議すること。選択後の取扱いについては、同要領の規定による。</p>	
用地関係	<p>① (用地・物件等未処理)</p> <p>本工事区間の_____には_____があるので、監督員と打合わせのうえ施工を行うこと。 なお、_____頃_____の予定である。</p>	
支障物件	<p>① (埋設物等の事前調査) ② (支障物件) ③ (立木の置き場所)</p> <p>工事にかかる地下埋設物等の事前調査については、[未調査・調査済み]である。 _____の施工に当って、_____が支障となっているが、_____までに移設が完了する見込みである。 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。 工事用地内の立木は伐採し、_____に置くこと。</p>	
対公害	<p>① (騒音振動対策)</p> <p>「建設工事にともなう騒音振動対策技術指針」を順守すること。 本工事の施工に当たっては、排出ガス対策型建設機械を使用すること。</p>	
安全対策	<p>① (交通安全施設等)</p> <p>一般交通等に支障を及ぼさないよう十分に注意して施工すること。 なお、交通整理の必要日数<u>7</u>日を見込んでいる。配置人員として、<u>交通誘導員A</u>を合計____名（交代要員[有・無]）、<u>交通誘導員B</u>を合計<u>14</u>名（交代要員[有（無）]）を見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。 警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、<u>交通誘導員A</u>、<u>交通誘導員B</u>の定義は以下のとおりとする。 <u>交通誘導員A</u>とは、警備業法第2条第4号に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する<u>交通誘導警備業務に従事する者</u>で、<u>交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員</u>をいう。また、<u>交通誘導員B</u>とは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で<u>交通誘導員A</u>以外の交通の誘導に従事する者をいう。 なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は<u>交通誘導員B</u>を配置しているとみなす。</p>	
排水処理濁水	<p>① (濁水処理)</p> <p>工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。 なお、これにより難い場合は別途協議すること。</p>	

現 場 説 明 書

特記事項2

建設副産物の処理	【建設発生土（処理）】	
	① (他工事等流用)	建設発生土は_____市・町・村_____地内の_____工事現場に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。
	② (建設技術センター)	建設発生土は_____市・町・村_____地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。なお、処理費として、1m ³ 当たり円をセンターに支払うこと。
	③ (民間残土受入地)	建設発生土は_____米子市・町・村_____尾高地内の(有)小倉興産尾高残土 処分場に運搬（片道運搬距離12.8km）するものとする。なお、処理費として、1m ³ 当たり1,330円を(有)小倉興産に支払うこと。
	【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材（処理）】	
	④ (分別解体等)	コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。その方法は、別表のとおりとする。 なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。 コンクリート塊1m ³ 当り_____円 アスファルト塊1m ² 当り146円 建設発生木材 1m ³ 当り_____円
	⑤ (他工事等流用)	[Co 雑割材・_____]は、_____市・町・村_____地内 _____工事現場に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。
	⑥ (再資源化施設への搬出)	コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。 再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。 なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。 コンクリート塊 米子市・町・村 淀江町稻吉地内の(株)大協組 (運搬距離13.8km)、費用1t当り800円 アスファルト塊 米子市・町・村 和田町地内のカネックス㈱ (運搬距離13.5km)、費用1t当り1,300円 建設発生木材 _____市・町・村 _____地内の _____ (運搬距離_____km)、費用1t当り_____円 その他() _____市・町・村 _____地内の _____ (運搬距離_____km)、費用1t当り_____円
	(施設の名称・受入れ費用)	8時～17時（平日） ア 路盤材、土砂、金属片等が、混入していないこと。 イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm以下であること。 ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径_____cm以下、 長さ_____m以下であること。 エ 2次公害発生の恐れがある物質（廃油等）を含まないこと。
	(受入れ時間帯)	
	(受入れ条件)	
	⑦ (木材市場等へ売却)	建設発生木材は_____市・町・村_____地内の_____への搬出（片道運搬距離_____km）を想定し、_____円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合は理由を付して協議すること。
	⑧ (最終処理等)	_____については、_____市・町・村_____地内の産業廃棄物処理場への搬出（片道運搬距離_____km）を想定し、その費用として1t当たり_____円を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。 産業廃棄物処理業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。 産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を_____円見込んでいる。
	⑨ (産業廃棄物の処理に係る税)	

現場説明書

特記事項3

建設副産物の使用	①(建設発生土の使用)	_____工事から〔当該工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所：_____に使用する。
	②(再生資材の使用)	1) Co雜割材は、_____工事から運搬し、 使用箇所：_____に使用する。 2) アスファルト・コンクリート切削殻は、_____工事から運搬し、 使用箇所：_____に使用する。 3) • 再生クラッシャーラン〔規格：RC-30〕は、 使用箇所：_____路盤材_____に使用する。 • 再生コンクリート砂〔規格：RS-_____〕は、 使用箇所：_____に使用する。 4) 再生加熱アスファルト混合物〔規格：再生密粒度As-_____〕は、 使用箇所：_____表層_____に使用する。 5) その他再生資材〔資材名：_____〕〔規格：_____〕は、 使用箇所：_____に使用する。
工事用		
仮設備		
その他	①(労災補償に必要な保険の付保) ②(現場環境改善)	本工事において、請負者は労災補償に必要な任意の保険契約を締結すること。なお、この労災補償に必要な保険契約の保険料を予定価格に反映している。 本工事は、現場環境改善(率計上分)実施対象工事と〔する・しない〕。 下表の内容のうち原則として各費目(仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携)ごとに1実施内容ずつ(いずれか1項目のみ2実施内容)の合計5つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。 実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。 地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容(目的に資するものであること)について監督員の確認を受けること。 1内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。

その他	③ (工事数量)	数量基準は土木工事標準積算基準書（鳥取県）によるものとし、設計計上数量、設計表示単位及び数位は、工事数量総括表のとおりとする。なお、設計表示数位に満たない設計変更は、契約変更の対象としないものとする。
	④ (施工開始時期)	本工事の施工開始の時期は、用水の取水が終了する令和4年9月15日以降とする。

※明示する項目を_____部分に記入又は追記し、不要部分は——で削除して使用すること。

別表3

(A4)

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)

分別解体等の計画等

工作物の構造 (解体工事のみ)		<input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> その他()		
工事の種類		<input type="checkbox"/> 新築工事 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・修繕工事 <input type="checkbox"/> 解体工事 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 下水道 <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> 電話 <input checked="" type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 防護柵設置工事()		
使用する特定建設資材の種類 (新築・維持・修繕工事のみ)		<input type="checkbox"/> コンクリート <input checked="" type="checkbox"/> コンクリート及び鉄から成る建設資材 <input checked="" type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート <input type="checkbox"/> 木材		
工作物に関する調査 の結果	工作物の状況	築年数 年 その他()		
	周辺状況	周辺にある施設 <input checked="" type="checkbox"/> 住宅 <input type="checkbox"/> 商業施設 <input checked="" type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 病院 <input type="checkbox"/> その他() 敷地境界との最短距離 約 m その他()		
工作物に関する調査 の結果及び工事着手前に実施する措置 の内容	工作物に関する調査の結果		工事着手前に実施する措置の内容	
	作業場所		作業場所 <input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分 その他()	
	搬出経路		障害物 <input type="checkbox"/> 有() <input checked="" type="checkbox"/> 無 前面道路の幅員 約 m 通学路 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 その他()	
	特定建設資材への付着物(解体・維持・修繕工事のみ)		<input type="checkbox"/> 有 () <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	他法令関係 (解体・維持・修繕工事のみ)	石綿 (大気汚染防止法・安全衛生法 石綿則)	<input type="checkbox"/> 有 特定建設資材への付着(<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無) <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	その他			
工程ごとの 作業内容 及び 解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法 (解体工事のみ)	
	①仮設	仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	
	②土工	土工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	
	③基礎	基礎工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	
	④本体構造	本体構造の工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	
	⑥その他 (構造物撤去工)	その他の工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用	
工事の工程の順序 (解体工事のみ)		<input type="checkbox"/> 上の工程における⑤→④→③の順序 <input type="checkbox"/> その他() その他の場合の理由()		
工作物に用いられた建設資材の量 の見込み(解体工事のみ)		トン		
廃棄物 発生 見込 量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み (全工事)並びに特定建設資材が使用される工作物の部分(新築・維持・修繕工事のみ)及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分(維持・修繕・解体工事のみ)	種類	量の見込み	使用する部分又は発生が見込まれる部分(注)
		<input checked="" type="checkbox"/> コンクリート塊	0.2 トン	<input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> ⑥
		<input checked="" type="checkbox"/> アスファルト・コンクリート塊	6 トン	<input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> ⑥
		<input type="checkbox"/> 建設発生木材	トン	<input type="checkbox"/> ① <input type="checkbox"/> ② <input type="checkbox"/> ③ <input type="checkbox"/> ④ <input type="checkbox"/> ⑤ <input type="checkbox"/> ⑥
(注) ①仮設 ②土工 ③基礎 ④本体構造 ⑤本体付属品 ⑥その他				
備考				

総括情報表

頁0-0001

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	54 米子市 実施設計書 当初 04-*****-0525 -40 0 1 実施数単価 30 米子市 0-04.07.10(0) 1 公共				
工種 現場環境改善費 施工地域 緊急工事 契約保証区分 豪雪割増 工期算定区分 週休二日補正係数	当世代 04 道路改良 01 率計上する（地方部） 13 一般交通影響有り(2) 00 通常工事 0 % 01 金銭保証（0.04%） 01 豪雪割増あり 02 算出しない 01 週休二日補正なし	前世代		当世代	前世代

本工事費 内訳書

頁0-0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
道路改良		一式			Y1E01 (レベル1)
道路土工		一式			Y1E0101 (レベル2)
掘削工		一式			Y1E010101 (レベル3)
掘削		m3			Y1E01010101 (レベル4)
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	50	m3			SPK21040001 0 A=1, B=5, F=7 单第0-0001 表 040710
残土処理工		一式			Y1E010110 (レベル3)
土砂等運搬		m3			Y1E01011002 (レベル4)
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し 距離13.0km以下(10.0km超)	50	m3			SPK21040002 0 A=2, B=5, C=1, D=1, F=46 单第0-0002 表 040710

本工事費 内訳書

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
残土等処分		m3			Y1E01011003 (レベル4)
投棄料		一式			#0041 C=投棄料
建設残土処分料 地山	50	m3			TTV0060 0 040710
防護柵工		一式			Y1E0208 (レベル2)
防止柵工		一式			Y1E020802 (レベル3)
転落(横断)防止柵		m			Y1E02080205 (レベル4)
横断・転落防止柵 土中建込 ビーム式・パネル式 [規]100m以上 転落防止柵-標準品-4段ビーム型,白色	205	m			SS000141 0 A=8, C=1, D=1, E=1 单第0-0003 表 040710
横断・転落防止柵 コンクリート建込 ビーム式・パネル式 [規]100m以上 転落防止柵-標準品-4段ビーム型,白色	418	m			SS000145 0 A=1, B=8, D=1, E=1, F=1 单第0-0004 表 040710
削孔		一式			Y1E02080205 (レベル4)

本工事費 内訳書

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
コンクリート削孔(コンクリート穿孔機) 削孔径60mm以上64mm未満 削孔深さ200mm以上400mm未満	140	孔			SPK21040108 0 A=1, B=2 单第0-0005 表 040710
構造物撤去工					Y1E0112 (レベル2)
道路付属物撤去工		一式			Y1E011203 (レベル3)
視線誘導標撤去		一式			Y1E01120301 (レベル4)
視線誘導標(Co建込用)(穿孔含まない) 撤去 [規]10本未満	6	本			SS000081 0 A=2, F=3, H=1 单第0-0006 表 040710
構造物取壊し工					Y1E011206 (レベル3)
舗装版切断					Y1E01120602 (レベル4)
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	210	m			SPK21040302 0 A=1, B=1, E=1 单第0-0007 表 040710
舗装版破碎					Y1E01120603 (レベル4)

本工事費 内訳書

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害無し 舗装版厚15cm以下	62	m2			SPK21040301 0 A=1, B=1, C=1, D=1, F=1, G=1 单第0-0008 表 040710
運搬処理工					Y1E011216 (レベル3)
殻運搬		一式			
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離15.0km以下(11.0km超)	3	m3			Y1E01121601 (レベル4) SPK21040138 0 A=3, B=4, C=2, D=51, E=1 单第0-0009 表 040710
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離14.4km以下(10.9km超)	0.1	m3			SPK21040138 0 A=1, B=1, C=1, D=50, E=1 单第0-0010 表 040710
殻処分					Y1E01121602 (レベル4)
投棄料		一式			#0041 A=工種金額加算累計, B=工種金額加算累計, C=
処分費 As殻 カネックス(株)	6	t			TTV0438 0 040710
処分費 Co殻 (株)大協組	0.2	t			TTV0430 0 040710

本工事費 内訳書

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装		一式			Y1E02 (レベル1)
舗装工		一式			Y1E0204 (レベル2)
舗装準備工		一式			Y1E020401 (レベル3)
不陸整正		m2			Y1E02040101 (レベル4)
不陸整正 補足材料有り RC-30 補足材料平均厚さ29mm以上34mm未満	62	m2			SPK21040224 0 A=2, B=9, C=3, E=1 单第0-0011 表 040710
アスファルト舗装工		一式			Y1E020404 (レベル3)
路盤(車道・路肩部)		m2			Y1E02040401 (レベル4)
路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚140mm 1層施工 RC-30	182	m2			SPK21040225 0 A=140, B=3, D=1 单第0-0012 表 040710
表層(車道・路肩部)		m2			Y1E02040409 (レベル4)

本工事費 内訳書

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当たり平均仕上厚40mm	244	m ²			SPK21040234 0 A=1, B=40, C=7, E=2, G=1, H=1, I=1 单第0-0013 表 040710
区画線工					Y1E0210 (レベル2)
区画線工		一式			Y1E021001 (レベル3)
ペイント式区画線		一式			Y1E02100102 (レベル4)
区画線設置(ペイント式) 溶剤型(加熱式) 実線_15cm	210	m			SDT00003 0 A=1, B=1, C=1, E=1, F=1, G=1, H=2, I=1 单第0-0014 表 040710
仮設工					Y1E0115 (レベル2)
交通管理工					Y1E011521 (レベル3)
交通誘導警備員					Y1E01152101 (レベル4)
交通誘導警備員B	14	人			R0369 0 040710 1

本工事費 内訳書

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接工事費					
現場環境改善費					Z0012
共通仮設費					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
工事原価					
一般管理費率 分					
契約保証費					

本工事費 内訳書

頁0-0009

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額					
工事費計					

施工単価表

单第0-0001 表

1 m3 当り

掘削

土砂 上記以外(小規模)

標準

SPK21040001

機械構成比 : 30.15%

労務構成比 : 58.62%

材料構成比 : 11.23%

市場単価構成比 : 0.00%

標準単価 :

バックホウ(クローラ型)
標準型・排2
山積0.28/平積0.2m3

構成比

単価(積算地区)

代表機労材規格(東京地区)

単価(東京地区)

備考

MTPC00062
MTPT00062

特殊運転手

58.62%

運転手(特殊)

RTPC00006
RTPT00006軽油
小型ローリー(パトロール給油)

11.23%

軽油1.2号パトロール給油

TTPC00013
TTPT00013

積算単価

積算単価

EP001

A=1 土砂
F=7 標準

B=5 上記以外(小規模)

施工単価表

单第0-0002 表

m3 当り

1

標準単価:

土砂等運搬

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

SPK21040002

DID区間無し 距離13.0km以下(10.0km超)

機械構成比: 25.95% 労務構成比: 61.91%

材料構成比: 12.14%

市場単価構成比: 0.00%

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	25.95%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
一般運転手	61.91%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	12.14%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=46 距離13.0km以下(10.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m ³ (平積0.2m ³) D=1 DID区間無し		

施工単価表

SS000141

転落防止柵-標準品-4段ビーム型,白色

横断・転落防止柵 土中建込
ビーム式・パネル式 [規]100m以上

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
横断・転落防止柵設置 ビーム式・パネル式 土中建込用	1.000	m			TSA04
転落防止柵 ビーム式 (4段ビーム) 土中建込用 スパン3m	1.000	m			T1668
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m			
A=8 転落防止柵-標準品-4段ビーム型,白色 D=1 -			C=1 [規]100m以上 E=1 -		

施工単価表

SS000145

転落防止柵-標準品-4段ビーム型,白色

横断・転落防止柵 コンクリート建込
ビーム式・パネル式 [規]100m以上

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
横断・転落防止柵設置 ビーム式・パネル式 コンクリート建込用	1.000	m			TSA17
転落防止柵 ビーム式 (4段ビーム) コンクリート建込用 スパン 3 m	1.000	m			T1662
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 ビーム式・パネル式 D=1 [規]100m以上 F=1 -		B=8 E=1 -	転落防止柵-標準品-4段ビーム型,白色		

施工単価表

单第0-0005 表

孔 当り

1

標準単価：

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)

SPK21040108

削孔径60mm以上64mm未満

削孔深さ200mm以上400mm未満

機械構成比： 3.74%

労務構成比： 69.72%

材料構成比： 26.54%

市場単価構成比： 0.00%

代表機 労材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代表機 労材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型最大穿孔径 φ 25cm	1.96%		コンクリート穿孔機 電動式コアボーリングマシン 簡易仕様型最大穿孔径 φ 25cm		MTPC00093 MTPT00093
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量3kVA 低騒音	1.16%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量3kVA 低騒音		KTPC00042 KTPT00042
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	41.84%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	11.03%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.24%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ダイヤモンドビット φ 64.7mm	23.22%		ダイヤモンドビット φ 64.7mm		TTPC00232 TTPT00232
ガソリン レギュラー スタンド	2.77%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014

施工単価表

单第0-0005 表

孔 当り

コンクリート削孔(コンクリート穿孔機)

SPK21040108

削孔径60mm以上64mm未満

削孔深さ200mm以上400mm未満

機械構成比 : 3.74%

労務構成比 :

69.72%

材料構成比 : 26.54%

市場単価構成比 : 0.00%

標準単価 :

1

孔 当り

代表機 労材 規格	構成比	単価(積算地区)	代表機 労材 規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 削孔径60mm以上64mm未満			B=2 削孔深さ200mm以上400mm未満		

施工単価表

SS000081

[規]10本未満

視線誘導標(Co建込用)(穿孔含まない)
撤去

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
視線誘導標撤去工 スノーポール併用型含 Co 建込	1.000	本			TS916
諸雑費	1	一式			#91
*** 単位当たり ***	1	本			
A=2 撤去 H=1 -			F=3 [規]10本未満		

施工単価表

单第0-0007 表

1 m 当り

標準単価:

SPK21040302
アスファルト舗装版厚15cm以下

舗装版切断

アスファルト舗装版

機械構成比: 6.24% 労務構成比: 54.57%

材料構成比: 39.19%

市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格
コンクリートカッタ
バキューム式・湿式
切削深20cm級ブレード径 φ 56cm構成比
4.22%

単価(積算地区)

代表機労材規格(東京地区)

単価(東京地区)

備考

MTPC00056
MTPT00056

その他(機械)

その他(機械)

EK009

特殊作業員

19.07%

特殊作業員

RTPC00001
RTPT00001

土木一般世話役

9.53%

土木一般世話役

RTPC00009
RTPT00009

普通作業員

8.29%

普通作業員

RTPC00002
RTPT00002

その他(労務)

その他(労務)

ER009

コンクリートカッタ(ブレード)
径22インチ(56cm)

36.35%

コンクリートカッタブレード
自走式切断機用
径56cm(22インチ)TTPC00015
TTPT00015ガソリン
レギュラー スタンド

1.92%

ガソリンレギュラースタンド

TTPC00014
TTPT00014

その他(材料)

その他(材料)

EZ009

施工単価表

单第0-0007 表

1 m 当り

SPK21040302

アスファルト舗装版厚15cm以下

舗装版切断

アスファルト舗装版

機械構成比 : 6.24%

労務構成比 :

54.57% 材料構成比 : 39.19%

市場単価構成比 : 0.00%

標準単価 :

代表機 労材 規格	構成比	単価(積算地区)	代表機 労材 規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=1 E=1 アスファルト舗装版 -(全ての費用)			B=1 アスファルト舗装版厚15cm以下		

施工単価表

单第0-0008 表

m2 当り

1

標準単価:

舗装版破碎

アスファルト舗装版

機械構成比:

9.68%

労務構成比:

82.20%

SPK21040301

障害無し 舗装版厚15cm以下

材料構成比:

8.12%

市場単価構成比:

0.00%

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ [クローラ型] 貸料 山積0.45m ³	9.68%		バックホウ [クローラ型・排ガス対策型(第2次)] 山積0.45m ³ (平積0.35m ³)		KTPC00004 KTPT00004
土木一般世話役	28.85%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊運転手	28.25%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	25.10%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	8.12%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=1 騒音振動対策不要 F=1 積込作業有り			B=1 障害無し D=1 舗装版厚15cm以下 G=1 -(全ての費用)		

施工単価表

SPK21040138

DID区間有り 運搬距離15.0km以下(11.0km超)

般運搬

舗装版破碎

機械構成比 : 19.75% 労務構成比 :

70.85% 材料構成比 : 9.40% 市場単価構成比 : 0.00%

標準単価 :

代表機材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	19.75%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
一般運転手	70.85%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	9.40%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=51 運搬距離15.0km以下(11.0km超)		

施工単価表

单第0-0010 表

m3 当り

1

標準単価:

般運搬

Co(無筋)構造物とりこわし

SPK21040138 DID区間無し 運搬距離14.4km以下(10.9km超)

機械構成比: 43.38% 労務構成比: 41.88%

材料構成比: 14.74% 市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	43.38%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
一般運転手	41.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	14.74%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=50 運搬距離14.4km以下(10.9km超)		

施工単価表

单第0-0011 表

m2 当り

1

標準単価：

SPK21040224

補足材料平均厚さ29mm以上34mm未満

不陸整正

補足材料有り RC-30

機械構成比： 17.98% 労務構成比：

47.31%

材料構成比： 34.71%

市場単価構成比： 0.00%

代表機労材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	8.87%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	6.87%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
タイヤローラ 8~20t	2.24%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
特殊運転手	29.90%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	9.19%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	6.69%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.53%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
再生クラッシャーラン RC-30	29.90%		再生クラッシャーラン RC-40		TTPCD0018 TTPT00008
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	4.81%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

单第0-0011 表

1 m2 当り

不陸整正

補足材料有り RC-30

機械構成比 : 17.98%

労務構成比 :

SPK21040224
補足材料平均厚さ29mm以上34mm未満

47.31% 材料構成比 : 34.71%

市場単価構成比 : 0.00%

標準単価 :

代表機 労材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代表機 労材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=2 C=3 補足材料有り RC-30			B=9 E=1 補足材料平均厚さ29mm以上34mm未満 -(全ての費用)		

施工単価表

单第0-0012 表

1 m² 当り

SPK21040225

RC-30

路盤(車道・路肩部)

全仕上り厚140mm 1層施工

機械構成比 : 5.23%

労務構成比 : 15.52%

材料構成比 : 79.25%

市場単価構成比 : 0.00%

標準単価 :

代表機 労材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代表機 労材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	2.12%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	1.64%		ロードローラ マカダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
タイヤローラ 8~20t	0.53%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊運転手	7.14%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.51%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	2.39%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	0.68%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

单第0-0012 表

1 m2 当り

路盤(車道・路肩部)

全仕上り厚140mm 1層施工

SPK21040225

RC-30

機械構成比 : 5.23%

労務構成比 : 15.52%

材料構成比 : 79.25%

市場単価構成比 : 0.00%

標準単価 :

代表機 労材 規 格	構成比	単価(積算地区)	代表機 労材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生クラッシャーラン R C - 3 0	77.85%		クラッシャーラン 40~0mm [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPCD0018 TTPT00346
軽油 小型ローリー (パトロール給油)	1.15%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=140 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)			B=3 RC-30		

施工単価表

单第0-0013 表

1 m2 当り

標準単価:

表層(車道・路肩部)

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

SPK21040234

1層当たり平均仕上厚40mm

機械構成比: 0.51% 労務構成比:

44.56%

材料構成比: 54.93%

市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.29%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクタ 前進型 運転質量40~60kg	0.15%		振動コンパクタ 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	20.05%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.02%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.02%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生アスファルト混合物 密粒度(13)	50.06%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00024 TTPT00284
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	4.70%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

区画線設置(ペイント式)
溶剤型(加熱式) 実線 15cm

SDT00003

施工単価表

单第0-0014 表

1,000 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_ペイント式(車載式)【手間のみ】_豪雪 実線_15cm 時間的制約なし	1,000.000	m			TDT000331
トライフィックペイント(JISK5665_2種B) 加熱型(液状) 白	72.100	L			T1080013
ガラスビーズ(JISR3301_1号) 粒度0.106~0.850mm	60.770	kg			T1080035
軽油 小型ローリー(パトロール給油)	35.020	L			TTPC00013
諸雑費	1	一式			#91
*** 合計 ***	1,000	m			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=1 昼間施工 C=1 白色 F=1 時間的制約なし		B=1 溶剤型(加熱式) E=1 実線_15cm G=1 -			
H=2 豪雪地域の場合		I=1 -(全ての費用)			

数量計算書

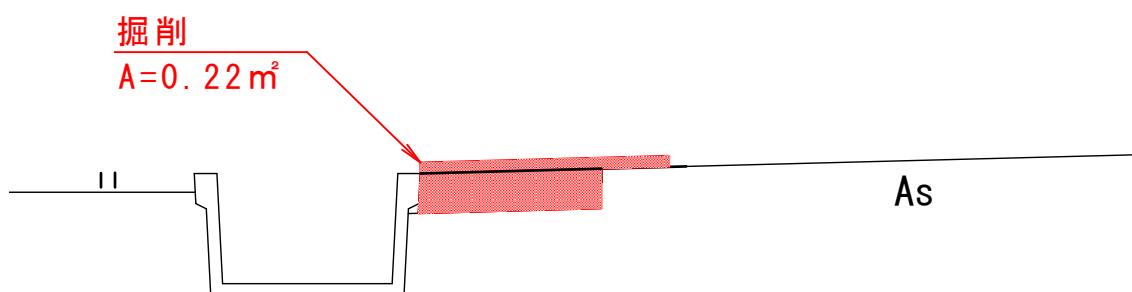
道 路 土 工 数 量 集 計 表

土工計算書

1. 挖削工

1-1. 挖削

$$V = 0.22 \times 208.0 = 45.76 \text{ m}^3$$



2. 残土計算

2-1. 残土(土砂)

$$\text{掘削 } V = 45.76 = 45.76 \text{ m}^3$$

防護柵工数量集計表

防護柵工 延長調書

名称	左・右別	起 点	終 点	延 長	摘 要
防止柵工					
転落防止柵 (土中建込)	左	No. 11+8. 8	No. 16+16. 8	205. 0	開口部3m×1か所 L=208-(3×1)
転落防止柵 (コンクリート建込)	左	No. 0	No. 11	418. 0	開口部3m×4か所 開口部1m×4か所 L=434-(3×4)-(1×4)
合計				623. 0	m

削孔數量調書

構造物撤去工数集計表

構造物取壊し工(運搬処理工)計算書

1. 構造物取壊し工

1-0. 視線誘導標撤去(コンクリート建込)

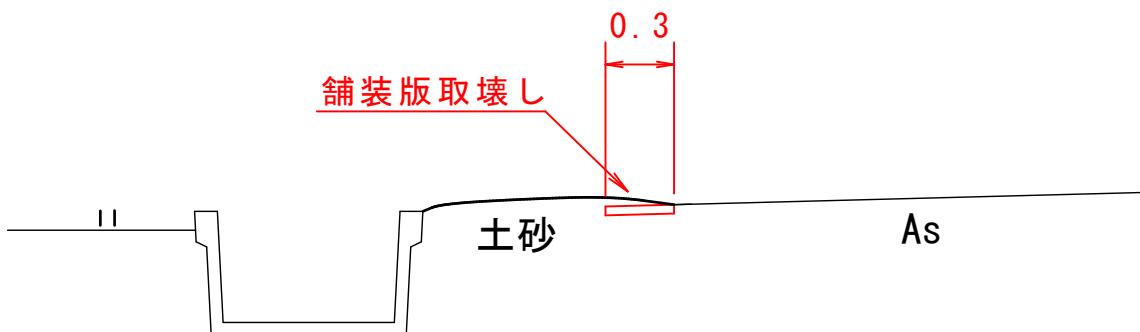
No. 0付近～No. 11付近 N=6ヶ所

1-2. 舗装版切断(As舗装, t=4cm)

$$(No. 11+8.8 \sim No. 16+16.8) \\ L = 208.0 + 0.3 + 0.3 = 208.6 \text{ m}$$

1-3. 舗装版取壊し(As舗装, t=4cm)

$$W = 0.3 \times 208.0 = 62.4 \text{ m}^2$$



2. 装置運搬処理

2-1. アスファルト殻

(舗装)

$$\text{舗装取壊し面積} \quad \text{舗装厚} \\ V = 62.4 \times 0.04 = 2.5 \text{ m}^3$$

$$W = 2.5 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 5.9 \text{ t}$$

2-2. コンクリート殻(無筋)

(防護柵・コンクリート用削孔)

$$\text{削孔面積} \quad \text{削孔深さ} \quad \text{削孔数} \\ V = 0.0033 \times 0.2 \times 140 = 0.1 \text{ m}^3 \\ (\text{削孔径: } 0.0647\text{m})$$

$$W = 0.1 \times 2.35 \text{ t/m}^3 = 0.2 \text{ t}$$

舖裝工數量集計表

舗装工 計算書

1. 舗装準備工

1-1. 不陸整正(補足材あり, RC-30)

$$\begin{array}{l} \text{表層} \quad \text{路盤} \\ A = 244.4 - 182.0 = 62.4 \text{ m}^2 \end{array}$$

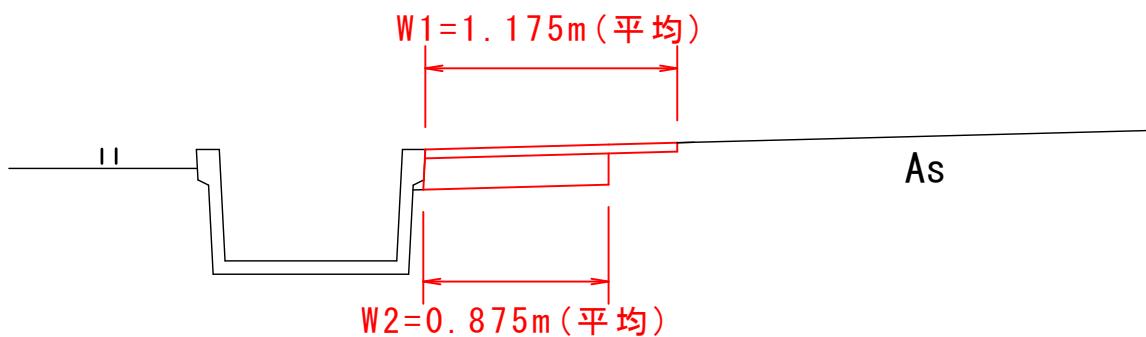
2. アスファルト舗装工

1-1. 路盤(RC-30, t=14cm)

$$\begin{array}{l} W_2 \quad (\text{No}11+8.8 \sim \text{No}16+16.8) \\ A = 0.875 \times 208.0 = 182.0 \text{ m}^2 \end{array}$$

1-2. 表層(再生密粒度アスコン, t=4cm)

$$\begin{array}{l} W_1 \quad (\text{No}11+8.8 \sim \text{No}16+16.8) \\ A = 1.175 \times 208.0 = 244.4 \text{ m}^2 \end{array}$$



区画線工数量集計表

区画線工 延長調書

名称	左・右別	起 点	終 点	延 長	摘要
外側線	左	NO. 11 +8. 8	NO. 16 +16. 8	208. 0	
合計				m 208. 0	

仮 設 工 数 量 集 計 表